

# システム変更等のお知らせ

(2001.1.13 - 2001.3.31 変更)

システム運用掛

## 1 ハードウェア ... 変更

### 1.1 超並列型スーパーコンピューター SR8000/MPP のサービス開始

スーパーコンピューティングニュース Vol.3 No.1(2001.1)「スーパーコンピューター SR8000/MPP の試験運用開始のお知らせ」でお知らせしました通り、2001年4月2日より、超並列型スーパーコンピューター SR8000/MPP の試験運用を開始(正式運用の開始は2001年5月を予定)します。詳細は本誌別記事「超並列型スーパーコンピューター SR8000/MPP 運用開始のお知らせ」を御覧ください。

### 1.2 超並列型スーパーコンピューター SR2201 のサービス終了

スーパーコンピューティングニュース Vol.3 No.1(2001.1)「超並列型スーパーコンピューターSR2201 サービス終了のお知らせ」でお知らせしました通り、超並列型スーパーコンピューター SR2201 は機種更新のため、2001年2月28日をもってサービスを終了しました。

### 1.3 磁気ディスク装置の変更

2001年3月に運用支援システム(MP5800)接続の磁気ディスク装置のうち、H-6587、H-6586 タイプを撤去、H-6588 タイプについて大幅に削減致しました。これに伴い VOS3 長期/短期データセット用及び OSF/1(m-unix) /home、/short 用磁気ディスク装置を以下の様に変更しました。

		変更前(VOL)		変更後(VOL)
		H-6595(RAID5)	H-6588	H-6595(RAID5)
VOS3	長期データセット	128	-	56
	短期データセット	32	-	12
OSF/1	/home	45	-	45
	/short	-	15	12

(1VOL=2.92GB)

### 1.4 磁気テープライブラリー (MTL) のサービス終了

スーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11)でお知らせしまし

た通り、磁気テープライブラリー装置 (MTL) は 2001 年 2 月 24 日をもってサービスを終了しました。

## 1.5 プリンター装置の変更

2001 年 1 月 31 日にセンターユーザーフロア設置のプリンター装置 H-8174( 8.5 インチ及び 11 インチ連続紙 ) 2 台を H-6274( 同 ) 2 台に入れ替えました。また、2001 年 3 月に以下に示すプリンター装置を撤去し、H-6284 ( 両面カット紙 ) 1 台を追加しました。

- H-6286 ( A4 高速カット紙 )
- H-8174 ( A4, A3, B5, B4 カット紙 )
- XEROX4036 プロッタープリンター
- SII EP-4020 カラーラスタプロッター

さらに 2001 年 3 月に UNIX システム用ポストスクリプトプリンター装置 LP7200-UX( モノクロ ) 2 台を DDP70( 同 ) 2 台に入れ替え、PICTROGRAPHY3000( 超高画質 ) 2 台のうち 1 台を PICTROGRAPHY4000( 同 ) と入れ替えました。なお、設置場所等の詳細は本誌別記事「ユーザーフロアの機器設置について」を御覧ください。

## 1.6 磁気テープ装置の変更

2001 年 3 月にセンターユーザーフロア設置の磁気テープ装置のうち H-6485 タイプ( カートリッジ型 200MB ) を撤去しました。また、H-8488 タイプ( オープンリール型 1600/6250DPI ) 及び H-6488 タイプ( カートリッジ型 800MB ) は従来通りサービス致します。なお、これまで使用していた 200MB カートリッジ型磁気テープは 800MB カートリッジ型磁気テープ装置を使用することで読み込みのみ可能です。

また、UNIX システム用磁気テープ装置 ( DAT、8mm、QIC ) を入れ替えました。詳細は本誌別記事「ユーザーフロアの機器設置について」を御覧ください。

## 1.7 その他機器の変更

その他センターユーザーフロア設置機器 ( 端末等 ) について 2001 年 3 月に更新、撤去を行いました。詳細は本誌別記事「ユーザーフロアの機器設置について」を御覧ください。なお、UNIX システム用 X 端末制御用サーバー ( x-controller1 ) 及び磁気テープ制御用サーバー ( io-controller ) の機種を更新しました。

## 2 ソフトウェア ... 変更

### 2.1 VOS3 / FS ; m-vos ... 変更

VOS3/FS は 2001 年 4 月 2 日より運用支援システム ( MP5800 ) 上にて規模を縮

小し運用を継続致します。利用形態はこれまでの VOS3 システムを引き継いでおり従来同様ご利用頂けますが、ディスク容量が大幅に削減となるため、長期データセット、短期データセット使用量の上限値を各々100MB に制限 (100MB を超えるファイルの御利用は利用状況に応じて 1GB を限度とし別途届出) させて頂きますので御了承下さい。また、利用の増加によるディスク全体の容量不足においては対処できない場合がありますので節度ある利用に御協力下さい。なお、本システムの CPU 及びディスク使用については 4 月 2 日より利用負担金の対象外とします。

## 2.2 HI - OSF / 1 - MJ ; m-unix ... 変更

HI-OSF/1-MJ は VOS3/FS と同様、2001 年 4 月 2 日より運用支援システム (MP5800) 上にて従来通り運用を継続致します。ただし、長期保存ファイル (/home)、短期保存ファイル (/short) 使用量の上限値は各々100MB に制限 (100MB を超えるファイルの御利用は利用状況に応じて 1GB を限度とし別途届出。オンライン newuser 手続きによるファイル使用量上限値の変更はできません。) させて頂きますので御了承下さい。また、利用の増加によるディスク全体の容量不足においては対処できない場合がありますので節度ある利用に御協力下さい。なお、本システムの CPU 及びディスク使用については 4 月 2 日より利用負担金の対象外とします。

## 2.3 HI - UX / MPP ; sr8000-s, sr8000-p ... 変更

最適化 FORTRAN 77	01 - 02 - / B (2001.1.31)
最適化 FORTRAN 90	01 - 02 - / B (2001.1.31)

- -e オプション指定時、EOF 検出後の backspace 文の挙動を、EOFRD 実行時オプション未指定時と同等とするよう変更しました。

2001 年 4 月 2 日より、新機種 SR8000/MPP は sr8000-s、sr8000-p を引き継いだシステム mpp-s、mpp-p (注: ホスト名は変更) として、従来機種 SR8000 は利用負担金体系にバルクコースを採用したシステム bulk-s、bulk-p として運用致します。詳細は本誌別記事「超並列型スーパーコンピューター SR8000/MPP 運用開始のお知らせ」または「ベクトル並列型スーパーコンピューター SR8000 バルク運用開始のお知らせ」を御覧下さい。

## 2.4 HI - UX / MPP ; scalar-mpp ... サービス終了

2001 年 2 月 28 日をもってサービスを終了しました。

## 3 その他

### 3.1 汎用大型構造解析システム MSC/NASTRAN のサービス終了

有限要素法による汎用大型構造解析システム MSC/NASTRAN(VERSION-68)は 2001 年 2 月 24 日をもってサービスを終了しました。これに伴い、MSC/NASTRAN 関連コマンド (VOS3: NAST68、NASTPS) 及びプレ/ポストプロセッサ-MSC/XL 関連コマンド (OSF/1: msc-xl、nastran-pre) のサービスを終了しました。詳細は本誌別記事「MSC/NASTRAN 及び MSC/XL のサービス終了のお知らせ」を御覧下さい。

### 3.2 化学文献データベース検索システム CASTOR のサービス終了

化学文献データベース検索システム CASTOR はスーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11)「CASTOR のサービス終了について」にてお知らせしましたとおり、2001 年 2 月 24 日をもってサービスを終了しました。

### 3.3 利用者提供データベースのサービス終了

利用者提供データベース XDCUTL、PDB、NUCDB、PSDB はスーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.5(2000.9)「利用者提供データベース XDCUTL、PDB、NUCDB、PSDB のサービス終了について」にてお知らせしましたとおり、2001 年 2 月 24 日をもってサービスを終了しました。

### 3.4 プログラムライブラリー SAS、SPSS のサービス期間延長

統計解析プログラムパッケージ SAS、社会科学統計パッケージ SPSS は本年度末のサービス終了を予定していましたが、2002 年 3 月末までサービス期間を延長することとなりました。詳細はスーパーコンピューティングニュース Vol.2 No.6(2000.11)「SAS、SPSS のサービス期間延長について」を御覧下さい。

### 3.5 電話回線利用サービスの変更

大型計算機システムを電話回線利用するための電話番号のうち 03-3815-6391 の通信速度(規格)を最大 28.8kbps (V.34) から 56kbps (V.90) に変更しました。また、以下に示す電話回線については廃止しました。

通信速度(規格)	電話番号	接続先	データ長、パリティ
1200~9600bps(V.32) (V.42bis, MNP クラス 5)	03-3815-3241	VOS3 (OPAC)	8bit なし(NONE)
2400bps(V.22bis)	03-3814-7251	VOS3	7bit 偶数(EVEN)
1200bps(V.22)	03-3815-6205	VOS3	7bit 偶数(EVEN)

廃止に伴い、2001 年 4 月 2 日以降「データ長 7 ビット、パリティ偶数(EVEN)」での接続はできませんので「8 ビットパリティなし」を御利用下さい。なお、変更後の電話回線利用 TSS の電話番号及び電話回線利用時の端末側基本設定については本誌表紙裏を御覧下さい。